

A 生命

1段階 ア 身の回りの生物 ※生物の構造と機能・生命の連続性 / 2段階 ア 人の体のつくりと運動 ※生物の構造と機能

生 活			理 科		
サ 生命・自然			A 生命		
※生き物といった生命に関する内容と、公園や野山などの自然に関する内容で構成			※生物の構造と機能		
小学部 1段階	小学部 2段階	小学部 3段階	中学部 1段階	中学部 2段階	
<p>教師と一緒に公園や野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動</p>			<p>身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、生物の姿に着目して、それらを比較しながら調べる活動</p>		
<p>人々や他の動物について、骨や筋肉のつくりと働きに着目して、それらに関係付けて調べる活動</p>			<p>身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、生物の姿に着目して、それらを比較しながら調べる活動</p>		
<p>【自然との触れ合い】</p>			<p>【骨と筋肉】</p>		
<p>【動物の飼育・植物の栽培】</p>			<p>【昆虫や植物の育ち方】</p>		
<p>生活：赤塚公園の春夏秋冬 生命の特徴や変化が分かる。</p>			<p>理科：四季の自然にとびだそう 生物にはそれぞれに固有の形態があることについて理解する。</p>		
<p>生活：植物の栽培 植物を栽培し、成長や変化に気付く。</p>			<p>理科：昆虫を育てよう 昆虫の育ち方には、「卵→幼虫→蛹→成虫」というような一定の順序があることについて理解する。</p>		
<p>理科：動物の体のつくりと運動 体を支えたり体を動かしたりするときに使われる骨と筋肉があることについて理解する。 人が体を動かすことができるのは、骨と筋肉の働きによることについて理解する。</p>			<p>理科：植物を育てよう 植物の育ち方には、「種子から発芽し子葉が出て、葉がしげり、花が咲き、花が果実になった後に個体は枯死する」という一定の順序があることを理解する。</p>		
<p>日常生活の指導：係活動 (水やり・餌やり)</p>			<p>日常生活の指導：係活動 (水やり・餌やり)</p>		
<p>マリーゴールド (小2)</p>			<p>ホウセンカ (小3)</p>		
<p>朝顔 (小4)</p>			<p>ヒマワリ・ヒヤシンス (小5)</p>		
<p>ミニトマト (小6)</p>			<p>ミニトマト (小6)</p>		
<p>小3理科 B生命・地球 (1)「身の回りの生物」</p>			<p>小4理科 B生命・地球 (1)「人の体のつくりと運動」</p>		

A 生命

1段階 ア 身の回りの生物 ※生物の構造と機能・生命の連続性 / イ 季節と生物 ※生命の連続性・生物と環境の関わり

生 活			理 科				
サ 生命・自然			A 生命				
※生き物といった生命に関する内容と、公園や野山などの自然に関する内容で構成			ア 身の回りの生物	イ 季節と生物			
			※生物の構造と機能・生命の連続性	※生命の連続性・生物と環境の関わり			
サ	小学部 1段階	小学部 2段階	小学部 3段階	中 1段階	中 2段階		
生命・自然	教師と一緒に公園や野山などの自然に触れることや生き物に興味や関心をもつことなどに関わる学習活動	小動物等を飼育し生き物への興味・関心をもつことや天候の変化、季節の特徴に関心をもつことなどに関わる学習活動	身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などの栽培及び四季の変化や天候の動きなどに関わる学習活動 ※中学部理科「A生命」、「B地球・自然」の内容との関連を踏まえて指導すること	身の回りの生物について、探したり育てたりする中で、生物の姿に着目して、それらを比較しながら調べる活動	身近な動物や植物について、探したり育てたりする中で、動物の活動や植物の成長と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べる活動		
	思 判 表	(ア) 身近な生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする	(イ) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現すること。	(イ) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。 ⑦生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。 ⑧昆虫や植物の育ち方には一定の順序があること。	⑦動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。 ⑧植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。		
	知 技	(イ) 身の回りの生命や自然について関心をもつこと。	(イ) 身近な生命や自然について知ること。	(イ) 日常生活に関わりのある生命や自然について関心をもって調べること。	(イ) 身近な動物の活動や植物の成長の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現すること。		
	【自然との触れ合い】			【生物の姿の違い】			
	指 導 内 容	・身近な自然の中で遊ぶこと ・自然を利用した遊びをすること ・校外学習などの際に自然に親しむこと			⑦生徒の身の回りで見られる様々な生物の色、形、大きさなどの特徴について調べる活動		
	ポ イ ン ト	公園、川、野山、海などで楽しく遊びながら自然の事物や事象に触れ、自然が生き物などに興味や関心をもつこと	自然の事物や事象に触れ、自然が生き物などに興味をもったりすること	生活：赤塚公園の春夏秋冬 自然の特徴や変化が分かる。	生徒の身の回りで見られる様々な生物の色、形、大きさなどの特徴について調べる活動を通して、生物にはそれぞれに固有の形態があることについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること	理科：四季の自然にとびだそう 生物にはそれぞれに固有の形態があることについて理解する。	
	【動物の飼育・植物の栽培】			【昆虫や植物の育ち方】		【動物の活動と季節】	
	指 導 内 容	・身近に生息する小動物や草花を探したり様子を観察したり、触れたりして、それらに関心をもつこと ・世話をしたり、育てたりして、成長や変化に気付くこと			⑧様々な昆虫の成長の過程や成長による体の変化を調べる活動 昆虫の育ち方には、「卵→幼虫→蛹→成虫」というような一定の順序があることについての理解を図り、図や絵、映像などに記録するなどの観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること	⑧季節ごとの身近な動物の活動の様子と季節の変化について調べる活動 動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること	
	ポ イ ン ト	飼育している身近な動物や栽培している植物に興味をもつこと	小動物を飼育し、生き物への興味や関心をもつこと 自分で育てるといふ実感を持ち、飼育動物のために、校庭の草を刈ったり、給食室に野菜くずをもらいに行ったりすること	身近にいる昆虫、魚、小鳥の飼育や草花などを栽培しながら関心を深めること 動物を飼育する場合は外敵の防止や気温の変化などに十分配慮し、飼育環境を整えること 植物を栽培する場合は、発芽、開花、結実といった一連の成長の様子が分かるような種類を選び、長期にわたる観察を行うこと 植物を栽培する場合は、適時、除草したり、肥料を施したりすること	観察、実験などの際、「卵→幼虫→成虫」などの変態の仕方が違う昆虫を用意して、比較すること 理科：昆虫を育てよう 昆虫の育ち方には、「卵→幼虫→蛹→成虫」というような一定の順序があることについて理解する。	活動の様子として、身近に見られる動物は、暖かい季節には出現する数も多く活発に活動するが、寒い季節には活動が鈍くなったり、卵で越冬したりするなど、それぞれに適した姿で越冬状態となるものが多いことなどを観察すること 理科：あたたくなるとあつくなるとすずしくなるとさむくなると 動物の活動や植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることについて理解する。	
	日常生活の指導：係活動（水やり・餌やり）			⑧植物の成長の過程や成長による体の変化を調べる活動 植物の育ち方には、種子から発芽し子葉が出て、葉がしげり、花が咲き、花が果実になった後に個体は枯死するという			
	マリーゴールド (小2)	ホウセンカ (小3) 朝顔 (小4)	生活：植物の栽培 植物を栽培し、成長や変化に気付く。	生徒の実態に応じて、図や絵、映像などに記録すること 理科：植物を育てよう 植物の育ち方には、種子から発芽し子葉が出て、葉がしげり、花が咲き、花が果実になった後に個体は枯死するという一定の順序があることを理解する。	植物を育てたり、身近な植物について一年を通して定期的に観察したりする活動を通して、身近な植物は、暖かくなる夏までは体全体の成長が顕著に見られ、寒くなり始めると体全体の成長はほとんど見られないが結実するなど、季節によって成長の仕方に違いがあることや、冬になると種子をつくって枯れたり形態を変えて越冬したりすることなどを捉えるようにすること		
		ヒマワリ・ヒヤシンス (小5) ミニトマト (小6)		ポ イ ン ト			
				小3理科 B生命・地球 (1)「身の回りの生物」	小4理科 B生命・地球 (2)「季節と生物」		